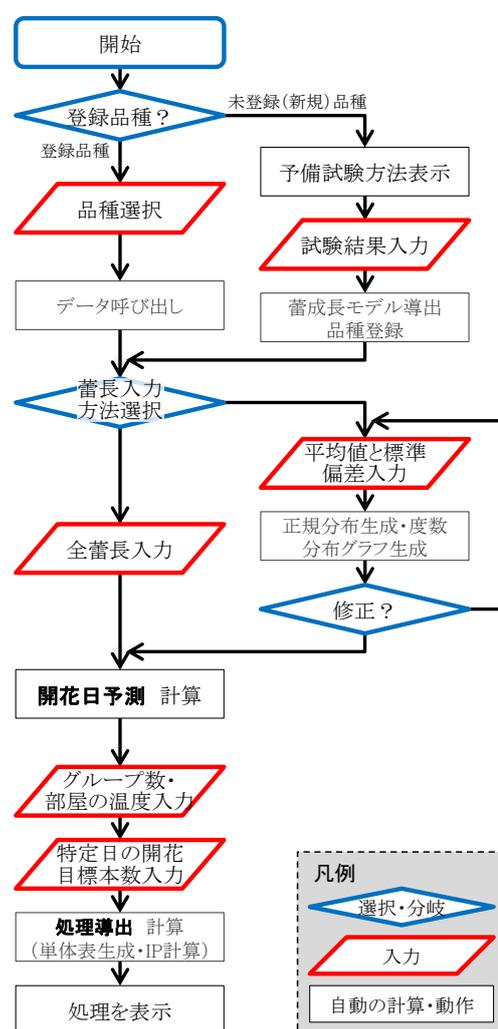


ユリ切り花の開花日予測・処理導出ソフトウェア

直売所など小売店での切り花需要は、休日や物日など特定日へ集中する傾向があります。そこで、ユリの出荷の参考とするために、各温度条件下における第一花の開花日を予測するソフトウェアを開発しました。ユリを蕾で収穫して、家庭用エアコンによって温度管理した部屋に数日置くことで、特定日に開花させる技術も開発されているので、この技術を利用して特定日に目標本数を開花させるための処理を導出する機能も加えました。

☆ 技術の概要

1. 本ソフトウェアはExcel ファイル（マクロ有効ブック）です。蕾収穫後の各温度条件下における第一花の開花日を予測できます（開花日予測）。加えて、特定日に目標本数を開花させるための処理（各温度の部屋に置く日数）も導出できます（処理導出）。
2. LA系4品種、オリエンタル系2品種のデータを収録しています。これら以外の品種でも、本ソフトウェアの説明にしたがって予備試験して結果を入力すれば、開花日予測や処理導出ができます。
3. 同一圃場・品種・定植日の80本以内を同時に計算できます。開花日予測に必要な第一花の蕾長入力には、1）一本ずつ全蕾長を入力、2）平均値とバラツキ（標準偏差）を入力、の2種類の方法があります。加えて、特定日の開花目標本数とグループ（同じバケットに入れるなど一緒に管理する集団）数、部屋の温度を入力すれば、処理導出もできます。
4. 開花日予測の結果は、蕾収穫後の各温度条件下における各日の開花予測本数の表と、折れ線グラフで表示できます。処理導出の結果は、各グループの処理、特定日の開花予定本数などを表として表示できます。



☆ 活用面での留意点

1. 個体差や部屋の温度ムラなどによって開花予定からずれることがあるため、開花予定日直前には蕾の状況を確認し、温度などを微調整することが望ましいです。
2. 本ソフトウェアは、Excel2007 と 2010 で動作を確認しています。本ソフトウェアと操作マニュアルは、農研機構内の <http://fmrp.dc.affrc.go.jp/programs/> を通じて配付予定です。

(近畿中国四国農業研究センター 研究員 吉田 晋一)

図 ソフトウェアのフロー